



共五冊日記  
第一號

慶應二年八月十六日ヨリ至  
二十三日

兩寅日記

早稲田大学図書館

文書 27

A 12

1





海

結  
文  
書  
記  
海  
書

長久保  
氏  
書  
記

長久保



此係狀自公久矣... 通判... 卯... 先... 以...

○八月十二日... 泊... 夜

一晚七... 泊... 夜... 相... 年... 道... 舟... 差... 十... 上...

○八月十七日... 雨

一早... 雨... 舟... 上... 水...

出之既陸人... 在馬... 同... 修...

秋... 十... 帝... 聖...

○... 野... 於... 乃... 美... 日... 第... 偏... 此... 向...

○... 新... 為... 且... 勢...

○... 白... 乘... 比... 出... 領... 力...

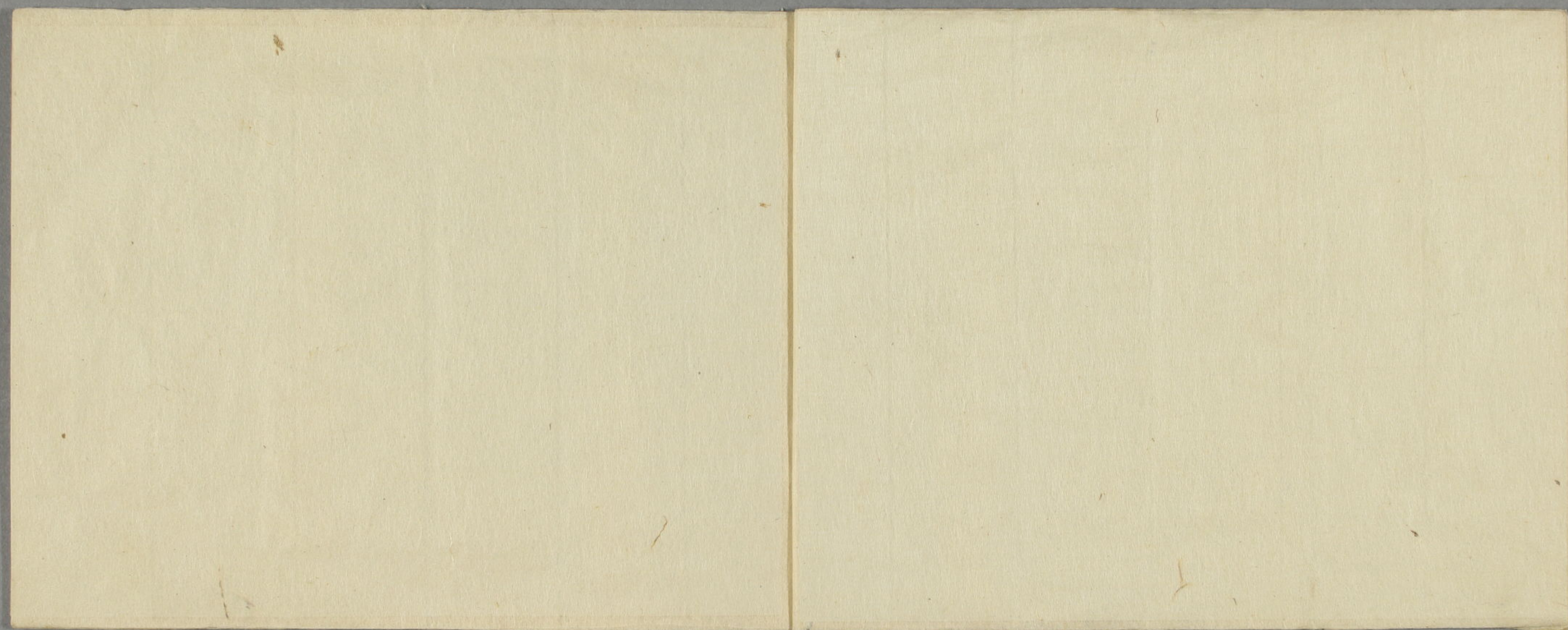
○... 直... 皇...

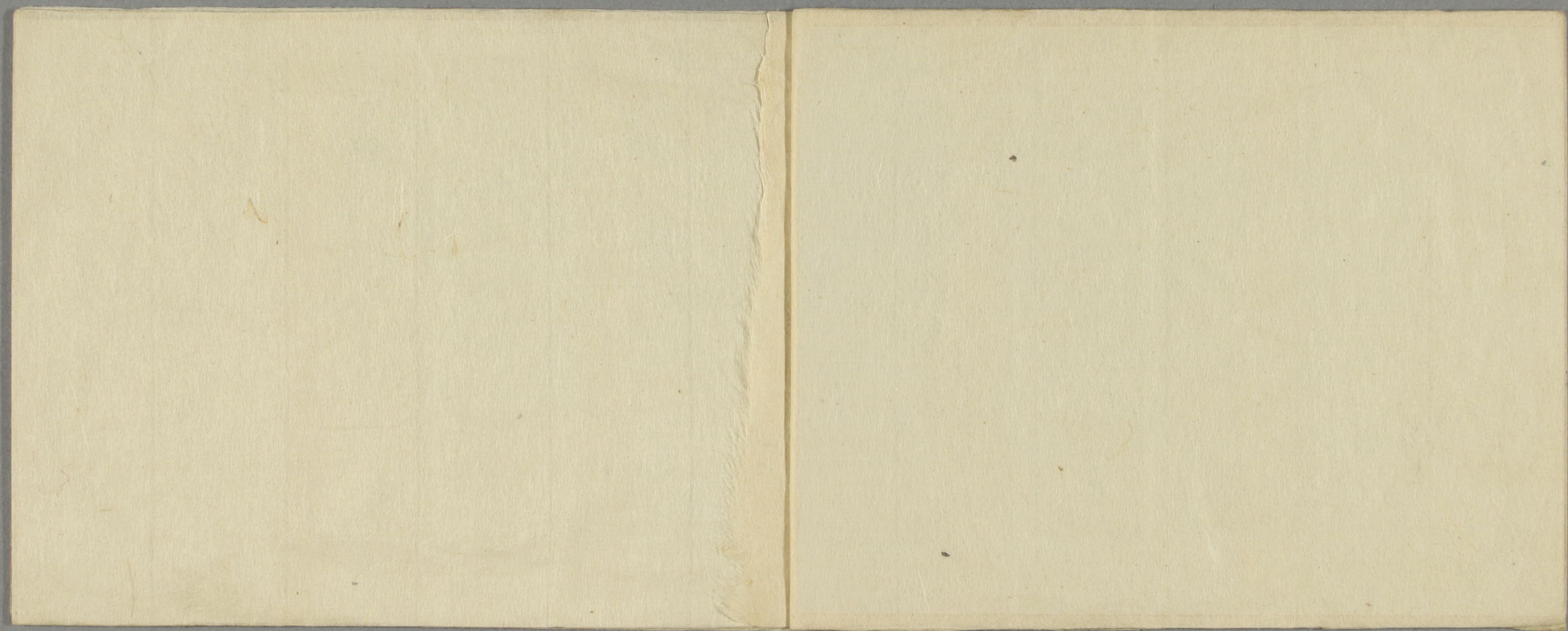
此は用難し越場を予備す  
錫粉の古面原上卷を  
可、流山等衆あり古面原を  
新保中流子、流子流上  
此馬切作以古面原を  
身言言舟を呼同言、  
○日林下快馬

吃化の山出卷喜言川と  
歌長ありあり公あり  
白浪千船字はをる飛脚  
方為志盛の馬あり  
身衣小倉井の一枚の  
身能信之野木流向  
中の上守原橋より  
此橋より水海あり  
人馬雲一表は流  
飯サ字あり  
水棟上は  
具方我は

此は用難し越場を予備す  
錫粉の古面原上卷を  
可、流山等衆あり古面原を  
新保中流子、流子流上  
此馬切作以古面原を  
身言言舟を呼同言、  
○日林下快馬

此は用難し越場を予備す  
錫粉の古面原上卷を  
可、流山等衆あり古面原を  
新保中流子、流子流上  
此馬切作以古面原を  
身言言舟を呼同言、  
○日林下快馬









石原 北下郡山 下町 石原田 日 出山 下 笹川 下  
須賀川 下 久来石 下 矢吹 下 新田 下  
大和久 下 瀨川 下 大田 下 根田 下  
白川 下 白波 下 芦野 下 越根 下 扇橋 下 大石原 下

